

特集

三好町教育方針



平成15年度 三好町教育方針

平成15年三好町教育委員会第1回臨時会が3月31日に開催され、土屋靖江教育長が平成15年度の教育方針を述べました。

これは、本年度の三好町教育委員会の重点施策などを皆さんに説明するためのものです。

そこで今回の広報では、この教育方針について紹介します。

はじめに

教育は、知・徳・体の調和の取れた人格の育成を目指すものです。そして、社会の一員としてよりよい地域社会を築き、文化の伝承と創造を担っていくような成長と発達を図るものです。それは生涯を通じてあらゆる場で行われるものです。

21世紀を迎え、わが国は国際化、高度情報化および各種技術の進展など、多くの課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。

この変化の激しい今日、心に潤い

を持ち、生きがいを感じることができ、
きるような活力に満ちた社会を築き、
また人々のさまざまな学習要求や文化・スポーツ活動への参加意欲に対応するため、多様な学習機会を生涯の各時期に応じて適切に整備・提供していくことが必要と考えます。

現在、家庭や地域社会の連帯意識の希薄化により教育機能が低下しています。また、学校教育に適応できない児童生徒がいることなども指摘されています。

子どもたちが成長し、社会性を身につける場としての家庭、地域社会、学校のそれぞれが果たす役割と相互間の連携・協力の在り方が、強く問われていることも現実です。

三好町では「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、町民の皆さんすべてを対象にした生涯にわたる教育の指針となる『三好町教育基本計画』の策定を平成13年度から進めています。

なお本年2月末には、三好町教育基本計画策定委員会より、計画についてさまざまな提案をいただいています。この計画は、これからの三好町の教育の方向を示す重要な計画で、9月には基本計画を発表する予定です。

この基本計画に基づき、今後進められる地方分権社会にふさわしい教育施策の推進を図るとともに、町民



土屋靖江教育長

の皆さんが生涯にわたって楽しく学び、活力ある暮らしができるよう学習の機会を設けたり、相談事業を実施したりするなどの体制づくりを進めていきます。

平成15年度を教育基本計画推進のスタート年と位置付け、21世紀にふさわしい教育の在り方を見据えて、新しい時代を切り開く「創造性にあふれ、心豊かで健やかな人」の育成を目指して教育行政を推進します。

三好町教育委員会では、平成15年度の重点施策を次の8項目とし、学校教育、社会教育、文化・芸術および体育・スポーツの各分野にわたる諸施策の着実な前進を図ってまいります。

1 明日の三好を担う人材育成

子どもが健やかに育つまち

0歳から10歳までの幼年期は人間形成の土台を築くうえで最も重要な時期であると考えます。そこで、子どもの発達段階に合わせ、さまざまな事業を展開していきます。

その一つとして望ましい子育てについての参考にしていただくことと0歳から10歳までを対象にした『子育て手引書』を作成し、各家庭に配布していきます。

また幼稚園・保育園から小学校への入学が円滑に行われるようにするために、幼稚園・保育園の先生と小学校の先生が相互に実習体験活動を実施し、相互理解と連携強化が図られるよう努めます。

生きる力をはぐくむ教育

「確かな学力」と「豊かな心」の育成は、子どもたち一人ひとりが生きる力をはぐくむ上で重要と考えます。

そのためには、基礎・基本を培うとともに、一人ひとりの個性や特質に応じて可能性を十分に引き出し、伸ばすことができるような環境づくりが求められています。そうした観点から、指導方法の工夫・改善、および特色ある学校づくりを一層進める必要があります。

そこで、学校の先生の現職研修を充実させるため、今以上の指導力向上を目指して、教育の専門機関である愛知教育大学との連携を進めていく計画です。また少人数指導での授業を進めるため、緊急雇用創出基金を活用し、教員補助者を各校に配置していきます。

開かれた学校づくり

児童生徒が生き生きと学び、保護者や地域から信頼される学校教育を行うためには、開かれた学校づくりを通して、保護者や地域の人々の理解と協力を得て、教育を推進していくことが大切です。そのために、幅広い視点から学校に対して意見を述べたり、協力したりする「学校評議員制度」のモデル試行も実施していきます。

2 教育環境の整備・充実

きたよし地区における児童生徒数の増加に対応し、教育環境が悪化しないようにするために、小学校と中学校の建設推進に取り組んでいきます。

新中学校は、平成18年度、新小学校は19年度の開校を目指して建設事業を進めます。また北部小学校の大规模改修事業や三好丘小学校の校舎増築事業、各学校の耐震補強事業など施設の整備を進めます。

そのほかスクールヘルパーを配置し、児童生徒や保護者の不安、悩み の相談体制を整えていきます。

児童生徒の増加や施設の老朽化に対応するため建設を進めていた、新給食センターも完成しました。この学校給食センターは、衛生面に配慮したドライシステム方式を取り入れ、さらには最新の厨房機器や環境に配慮した太陽光発電、太陽熱給湯なども導入しました。成長期の子どもの健やかな発育のため、安全で安心できるバランスの取れた給食の供給に努めます。

3 生涯学習の推進

一人ひとりが生涯学習を通して豊かな人生を送ることができることを願い「ふれあい・学びあい・支えあい」そして響きあう生涯学習を基本理念とする『三好町生涯学習推進基本計画』を昨年2月に策定しました。生涯学習は、自主的な学習活動です。同じ目的をもつ仲間と学習することで人々の和ができます。こうして日々の暮らしに潤いが生まれ、人と人とのつながりができ、地域づくり、まちづくりへと発展していくものと考えます。

昨年9月には、生涯学習の拠点となる教育学習センターを開設しました。悠学力レジャの各種講座を中心に多くの皆さんにご利用いただい

特集

三好町教育方針



生涯学習発表会

います。また文化センターサンアー
トや中央図書館、中央公民館、地区
公民館などで文化・芸術活動をはじめ
各種の講座やボランティア活動な
どが活発に展開されています。
今後、こうした自主的な生きが
いづくり活動を積極的に支援してい
きます。

4 文化・芸術の振興

平成15年7月には、文化・芸術振
興の拠点である文化センターサンアー
トが開館10周年を迎えます。町民主
催の「三好演劇塾公演」をはじめ
「三好ミュージックフェスタ」や
「NHK交響楽団演奏会」などの記
念事業を計画しています。これを契
機に、さらに一層の町民参画型文化・

芸術活動の振興を図っていきたく
思います。

5 スポーツの振興

スポーツは、生きがいや健康づく
り、仲間づくりはもとより、青少年
が社会性を培うなど、心身ともに健
全な発育を図る上で、有効な手段で
あると考えます。

こうしたなか来年は、平成16年度
から実施する「総合型地域スポーツ
クラブ」のモデル試行を目指し、設
立準備会を発足します。

また、カヌー競技に対する理解や
普及といった所期の目的はほぼ達成
されたと考えます。今後のカヌーの
振興については、より多くの皆さん
が水辺に親しみ、楽しみながらでき
るカヌーの普及を進めていきます。

その一環として、平成15年度から
は、10人乗りのみなどで楽しむこと
ができる「Eボート」を導入し、レ
ジャーカヌーの振興を図りながらカ
ヌーへの一層の理解を深め、町民の
皆さんの交流づくりに努めます。

2004年には、保田ヶ池カヌー
ポロ競技場で第6回世界カヌーポロ
選手権大会が開催されます。本年2
月には、マスコットキャラクターの
愛称が「POLOX（ポロックス）」
に決まりました。海外からお越しに
なる選手をはじめ、関係者の皆さん
が気持ちよく競技ができる大会にな

るよう、万全の体制を整えます。

6 男女共同参画社会の実現

男女共同参画社会の実現に向けた
さまざまな取り組みが、国際社会に
おける取り組みと連動して、着実に
進められています。本町も平成15年
3月に、その目標や指針を示した、
みよし男女共同参画プラン「パート
ナー」を策定しました。

町、学校などの関係機関において
もこの計画に基づき、男女共同参画
社会の実現を目指します。また近年
話題になっている女性に対する人権
侵害や暴力に対する対策として、フェ
ミニストカウンセリング（女性のた
めの悩みごと相談）を実施します。

7 青少年健全育成の推進

青少年健全育成の活性化および充
実を総合的に推進するため、青少年
奉仕活動・体験活動推進協議会を設
置し、活動の支援を行っていきます。

8 国内外交流

友好都市アメリカ・インディアナ
州コロンバス市へ中学生を派遣し、
国際感覚の醸成や国際理解、国際協
力などの意識啓発に努め、国際交流
を進めていきます。

また愛知用水を縁とする長野県三
岳村へは、牧尾ダムの見学を通して
水の学習を深め、環境教育に努めて



士別市・三好町少年野球交流会

います。北海道士別市とは、小学生
のサッカー、野球などのスポーツ少
年団の相互交流や小学生派遣を行い、
自らの地域と異なる風土、生活、文
化などを肌で感じるとともに自ら
の地域の特性を学ぶ機会としていま
す。このように国内外の友好都市交
流を推進し、豊かな人間性や社会性
を築いていきます。

これらの事業を実施し、第五次三
好町総合計画の「ゆたかき」のビジョ
ンに描かれた教育・文化・スポーツ
の振興を図る「心豊かな個性と創造
性が輝くまち」の実現に向け、教育
行政の推進をしていきます。

▼問い合わせ 学校教育課

☎(32)8026 ①(34)4379